
あんぎゃーすにチート能力つけて異世界に送ってみた。

あんぎゃーす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

IJのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あんぎゃーすにチート能力つけて異世界に送つてみた。

【Zマーク】

Z1050R

【作者名】

あんぎゃーす

【あらすじ】

(IJの作品はKの執筆です。)

K：最近アニメを見れないから書くことが出来ない…。

腹いせにあんぎゃーすにチート能力つけて咲の世界に飛ばしてみた。
あ…え、私が何をしろと？

K：一時の気の迷いです、はい。あんぎゃーすが麻雀するだけの話です。

明らかにおかしいもの以外は全て実際にあんぎゃーすや私、友人達

が打つたことのあるものです。
クオリティに期待してはいけません。

ひじりうなつた（前書き）

一一三四五六七八九（漢数字）がマンズ。
？？？？？？？がピンズ。

？？？？？？？（ローマ数字）がソウズ。

東西南北白發中が字牌になつてます。

初めて出た麻雀用語は、多すぎなければ後書きで解説します。

死につけられた

(…………死につけられた…………)

今の私が最初に思ったのは、そのたった一つであった。

(…………死につけられた…………)

この何度も考へても、常にその一言が頭の中を回っていた。

本名を明かすことには出来ないが、私はネット…………特にある小説サイトでは「あさぎやーす」と名乗っていた。

唐突だが、どうやら私は身体が幼児退行してしまつたりして。

死んだのかどうかは不明だが、とりあえず周りの光景に見覚えは無い。

この身体を産んで育ててこむ（と思われる）両親も、「私」の両親とは違う。

「へーん、あれ？ 所謂「転生？」

別に私、死んでないはずなんだけれどなあ。

まあ、一時の夢だと想いつてみやが。

夢なり、そのつい覚めるだらけ。

これは…一時の故蝶の夢…

……だと思つたんだけどなあ。

早いもので、この身体で育つてもう四年になる。

流石に一年もすればこれが夢で無く、自分と云ふ「現実」だとわかる。

死んだのかどうかは相変わらず不明だが、とにかく今現在肉体年齢六歳のこの身体こそが今の「私」だと理解している。

あにつらとは仲も良かつたんだけどなあ。

「もひ会えないだらうなー…」

「ん? どしたの? わちやん?」

「ん、何でも無いよお母さん」

新たな（と言えばいいのだらうか?）私の母。

もりのあぐみ
森野恵。

基本的に主婦で、公務員である森野渚と夫婦。
もりのなきよ
森野渚

父は学校の先生。

結構評判の良い先生らしい。

そして、二人とも麻雀が好き。

私も麻雀は好きだし、何回か会った親戚も麻雀好き。

だから何回か混ぜてもらって打ったこともある。

六歳の少女が麻雀打つことに対する態度は無いのか……まあいいか。

一人名前が気になった子がいたが、まあそれは後で触れるとしてよ。

コウといつのは私の名前。

森野昂美もりの のじゅみ、女性としては変な名前だと思うが気にしない。

兄弟姉妹はないが、親戚付き合いも仲は良好。

特に竹井家と染谷家との仲は、麻雀が多いせいかなりのもの。

……そう、竹井家に染谷家なのだ。

勘の良い方はわかるだろ？

その家には同年代の娘がいる。

竹井久と、染谷まこ。

つまり、「咲・saki・」。これが、今私のいる世界だ。

ぶつちやけた話、私は咲 자체はあまり知らないから問題無いといえば無いのであるが。

まあなつてしまつたものは仕方ない、適当に気楽に過りじて行つ。

麻雀の腕には少し覚えがあるし。

そう思つていた時期が私にもありました。

事の始まりは私が小学校に入つてから、父が仕事で母が何かの用事で家に誰もいなくなつた時。

小学校も休みだし、スポーツ等が好きでも無い私は外で遊ぶといつとも無い。

そもそも精神年齢があれなので、なんか、こう…ねえ？

とはいって、一人で家にいると暇なのだ。

なまじ精神年齢が高いので、一人で遊ぶようなものも無い。

……『気がつけば、パソコンをつけてネット麻雀を始めていた。

なぜだらうか、この世界にいると何気なく麻雀をやりたくなつてしまつ。

と、いつ訳でネット対局。

んーと…「のどひー」さん、「いんひー」さん、「クラリネット」さん対局お願いします。

えーと…あー私はラス親か。

半荘戦だし私にはあんまり関係ないけど。

それにしても「のどひー」ってなんかで聞いたような…と、配牌配牌…。

一 二 三 四 四 六 七 ? ? ? ? 北 北

自風の北が対子だから平和と断公九がつかない、上がれるけど高得点にならなそうな配牌だね。

ツモがよければ三色も出来るかもしれないけど……いいか、欲張ら無くとも。普通の麻雀なんだし。

あ。

「ポン」

つい声に出しちゃうなあ。

北が鳴けたから…？切り。

次のツモは…？か、丁度良いね、？切り。雀頭出来たし順調。こ

れで一尚聴。

他三人も字牌整理……あ、親に東を暗慣された。

このゲームドリフは即乗りだからなあ……ドリフ表示牌は……西?

とこり」とは……ドリフ確定か。これはラッキー。

さて、私のツモは……おお?

「加慣」

持つてきたのはなんと北。

折角なのでドリフ4四。

新ドラ表示牌は……はあ?

「西?」

てことは……確定ドラ8。

この手をあがれば、北ドラ8で倍満確定。

北だけだつた安手が、まさかこんな化物になるとは……。

引いてきたのは五。

四切りでテンパイ……まあ、これ以上役の増加は無いだろうし、即
テンでいいかな……

まだ3順だし、流石に既にテンパイは無いでしょ。まだ既子牌整理の段階だし。

四切り。

今の手は、

一三四五五六七?????二、北北北北。

? ? 待ち。出れば良いけど……

ロンなら160000、ツモなら40000・80000か……

次に来たのは……「ん?

南……まあ、これはいらないな。

他家もそろそろ纏めて来てるだろ? し、南は3枚見えてるしね。

南切り……? 捨てるし、出ないもんかな……。

そして自分のツモ……あら?。

「ツモ! 北ドリ8で倍満40000・80000-」

あいつやつと?を持ってくる。

これでいんひーさんの親は流れた。

結構好調なスタートだな。

さて、血向の私の配牌……。

一三三四六七八九？？東西白發中

うーん、酷い配牌だけど希望のある配牌だね。

バラバラの序牌はともかくとして、萬子の並びはいい。

その字牌も、どれかが刻子になれば役牌が確定してるし。

頑張れば混一色一氣通貫役牌だし、狙つかな？

ドラは…表示が九だから一か。

一氣通貫なら絶対必要だし……

第一ツモは…白。

混一色で決まりだね、？落とし。

さて、他の人も役牌が重なってるかな？皆オタ風から落としていたし。

この東發中は落としにいく……。

次ツモは……ドラの一。

これで一氣通貫まで後一つ。？切り。

「鳴いたか……」

のびつちあひさんが中を鳴く。

これは嬉しいね、明らかに不要牌を捨てていらざるよいなるじ。

のびつちあひさんは手が早そつだね、??の辺張を落としている。

捨てたのは白か。じゃあ鳴いておく。

多分ツモっては来ないだろひし。

これで一氣通貫も混一色も食い下がりだけど、別に良じよ。中切り。

またのびつちあひさんが鳴いたか。しかも今度は東。

これで最低でも二東中で三翻。だから早鳴きか、そりや鳴くわ。

待ちはず流石に読めないナビ、びつなるかな?

ツモったのは?。かぶったな……。

でも流石に手が読めないし、これは保留。安牌の東切り。

西が重なってくれるのが一番だけビ…

のびつちあひさんはシモ切りの?。やつぱり張つてゐるのかな?

「立直！」

クラリネットさんが立直。捨て牌（北・南・八）から見るコタンピン
気配。

そして私が引いたのは……西。

保証は無いけど、さつきの倍満ツモで余裕はある。？切り。…………当
たらないか。

カン五待ちの聴牌。

待ちちは悪いけど……あ。

「ロン！混一色一氣通貫白ドラーで満貫の8000点！」

立直したクラリネットさんから出た。これはラッキー。

なんか調子良いな、このゲームにローカル役が入っていれば跳満だ
ったんだけど。

さて、東3局。

親はクラリネットさん。

点数は、

私…49000点

のどっち…21000点

クラリネット…13000点

いんひー…17000点

改めて見るとかなりの点差だね。

まだ2局打つただけなんだけど。

親の役満直撃ならリー チ 棒のみになるけど……。

とど、配牌は…

|||||四四五五? ? ? ? ? ? 白

一盃口が既に完成していて、2尚聽。

ドリは西だから私には関係無いね、南家だし。

第一ツモは…… |||°

三か……「へーん、とりあえず断公九は確定させよつか。白切り。

「ポン！」

いんひーさんが白ポン。

とにかく流れを作つておきたいのかな？

のどっちはさんはオタ風落とし、クラリネットさんは?切り。クラリネットさんはチャンタ系の決め打ち?

で、私のツモは…… またも|||°。

……これは何だらうへ、わからん。とりあえず？切り。

……全員オタ風落としか。誰も鳴かないし……。

んで、ツモは……四か、成程ね。

「カン！」

これはもう暗慣の一択だな、ドリフは…？。ドリフ一確定。

引いてきたのは？。まあこれはいらないし、鳴かれないでしょ？。
？切り。

いんひーさんは六、のぞみちさんは？、クラリネットさんは？。まだ皆少し時間がかかりそうだけど……

私のツモは…？。なんか、次々有効牌揃えるね…。？切りで一尚聴。
いんひーさんは六、のぞみちさんは？、クラリネットさんは？…これは鳴くべきかな？

……いや、スルーかな。一応まだあるし。

で、自ツモ……は？五！？

「……これは鳴かなくて正解すぎるな……？切り立直ー！」

これでテンパイ？？待ち。なんか引きが良すぎるんだけど…

そして三順後。

「ツモ！立直ツモ＝暗刻＝連刻断公九ドラー裏2で倍満！」

またも倍満。

これでまた40000・80000。

これで点棒は…

私 … 65000点
のどっち … 17000点
いんひー … 13000点
クラリネット … 5000点

となつた。

なんかもう、ここまで運が良いと森夫なみの天和でも出せるような気が…ま、それは無いか。

(この時の私は、これがフラグだとは思っていなかつたのだ……)

さて、私の親。

頑張ればこの局で一人飛ばして終わりかもしれないね。

さて、配牌は…

「…………え？」

――九九九???????

で、ラス牌が？。

つまり……

「……ツモ。天和四暗刻清老頭……親のトリプル役満 48000オーバー」

……え、これなんて森夫？

ひとじまいなうなつた（後書き）

用語解説

- ・半荘戦 東一局から東四局、南一局から南四局までの計8局を一回の対局とするルール。
- 通常の麻雀ではこれが普通。

・配牌 最初に自分の手元に配られる13枚の牌（親は14枚）。基本的にこの中で役を作っていく。

・対子

同じ牌が手元に2つあること。

麻雀は4面子1雀頭を作るため、対子は雀頭にも面子にもなる割と重要なもの。

・平和

雀頭1つと4つの順子を作る役。1翻。両面待ちのみこの役がつく。頭待ちやカンチヤンペンチヤン待ちではつかないので注意。麻雀の中ではとても出来やすい役で、他の役とも絡みやすい。ただし、雀頭が風牌・三元牌の場合は平和にならないので注意しう。

初心者はまずこれを覚えよ。

・断公九

公九牌（字牌と1と9）を使わずに作る役。1翻。

これは順子や刻子にこだわる必要も無い上に、作りも簡単。また、

他の役と絡むことも多い。

初心者は（）

・三元牌

白・發・中のうちのどれかを3枚揃える事。1役。
わかりやすいうえに出来やすいので、初心者は好む。
他の役との兼ね合いが少し難しい難しい。

・ツモ

自分で山から牌を持つててくること。
その後、手牌の中から1枚を捨てる。
これを繰り返して手の中で役を作っていく。

・三色

この場合には三色同順。マンズ・ソウズ・ピンズで同じ順子を作る事。
2翻、食い下がり1翻。

これがチーゼずに手牌の中で出来るならその日はかなり調子が良い。

・ポン

自分の手元に対子がありそれを相手が捨てた時に「ポン」と発声する
ことで、それを貰う事が出来る。

ポンした場合手牌から牌を1枚捨て、手元の対子と相手の牌を自分
の卓の右側に寄せて晒す。

・尚聽

あといくつ欲しい牌が来れば聴牌出来るか。

（例1）一二三四五六七九？？北北西

この場合、ハ？？が欲しい牌。

そのうち1牌が来ればテンパイとなるので、1尚聽。

・ 聽牌 テンパイ

あと一つ有効牌が来れば上がる事が出来る状況。

(例2) 一二三四五六七八九？？北北西

例1にハをツモった状況。

西を切る事でテンパイとなる。

なお、何かしら役が無ければ上がることが出来ない。

・ 慣 カン

これには三種類ある。

明慣ミンカン：ポンと同じように、手元に同じ牌が3枚ある時に相手がその牌を出した時にそれを貰う事が出来る。

加慣カカン：ポンした後にそのポンした牌を持つてきた場合、それを重ねる事が出来る。

暗慣アンカン：手牌に同じ牌が3枚あり、そこに4枚目を持つてくると暗慣する事が出来る。

カンした場合は4枚の牌を右側に寄せて相手に晒し、使わない山（王牌）から一枚持ってきて、それを含めた手牌の中から一枚を捨てる。

カンをするとドラ表示牌が一枚増える（ルールによつては増えない事も。ルールを確認しよう）。

・ ドラ

使わない山（王牌）を一枚めぐり（ドラ表示牌）、その次の牌がドラとなる。

例えば一がドラ表示牌の場合は一がドラ。

ドラは1枚で1役となるので、手牌に沢山あると大きな役になる。ただし、ドラ以外に役が無い場合はあがれない。
あくまでもボーナスなので気をつけよう。

・ 倍満 ハイマン

あがつた時、自分の手の役の合計が8～10翻だった場合、倍満となる。

ツモった場合、子なら子4000・親8000・親なら3人に6000ずつ点棒を貰う。

ロンの場合、子なら16000・親なら24000を振つた人から貰う。

・混一色ホンイツ

手牌を字牌と一種類の数牌で作る役。面前3翻食い下がり2翻。

(例3) 一一二三四五六七八九北北北
この場合は北三枚と四五六、七八九で面子が確定していく一と二が2枚ずつのため、一か二が来ればあがり。

手牌がマンズと字牌で作られているため、これで混一色となる。

・一気通慣イッキツウカン

同じ種類の一・二・三・四五六・七八九の順子を揃える事。面前2翻食い下がり1翻。

例2はこれが完成している。

・オタ風

自分の風牌にならない字牌。東場の南家なら西と北。

・W東ダブトン

東場の親(東家)が東を刻子にすると、自風牌と場風牌が同時につくので一気に2役となる。

・立直リーチ

ポン、チー、ミンカンをせずにテンパイした時に宣言できる。1役。役が無い状態でも、リーチをすれば「立直」という1役がつくれるので上ることが出来る。

またリーチをかけてあがると、裏ドラといつてドラ表示牌の裏の牌をめぐり、それもドラ表示牌として扱う。

ドラ表示牌がハで裏ドラ表示牌が？の場合、ドラは九と～となる。

（例4）六七？？？？？？北北

ドラ表示牌？裏ドラ表示牌西

五八待ちの聽牌でドラが3つあるが、そのドラ？が刻子なので平和はつかず、？？？と北北のせいで断公九もつかない。

他の役も無いのでこのまま続けるとあがれない。

しかし立直をかけることによって上がることができる。

あがった場合、立直に加えてドラと裏ドラをあわせてドラ5となる。一見「じゃあリーチすればいいのか」とも思えるが、それもリスクが大きい。

リーチをした後は自分の当たり牌以外は全て切らなければならぬため、自分の手を変える事が出来ない。

またリーチ後に捨てた牌であがらなかつた場合、フリテンといつてあがることが出来ない（ツモはOK）。

・
満貫マンガン

4～5翻であがつた場合、満貫。

子のツモなら子20000・親40000、親のツモなら40000オール。

子のロンなら8000、親のロンなら12000。

・
跳満ハネマン

6～7翻であがつたなら跳満。

子のツモなら子30000・親60000、親のツモなら60000オール。

子のロンなら12000、親のロンなら18000となる。

えーと……私チート持ち？（前書き）

K：はい、第一話です。

あ……いや、えっと、あの……

K：ん？ したの？

あ……『兄妹』は？

K……アニメ見る時間が無いんです。

あ……書こてる時間はあるのに？

K……お金も無いんですよ。——SUTAYA高こうお……

あ……。

えーと……私チート持ち？

私の目の前には、とても信じられない画面が写っていた。

何も出来ずに負けたのだ。

順位は、一応2位。

でも -31000点で2位と言つて、誰が信じるんだ？？。

私を負かしたのは「あんぎゃーす」という人。

私だってまだ麻雀を始めたばかりだし、ルールや役は覚えていても打ち方は甘いと思う。

でも、この人はそんな次元じゃなかつたんだ。

私の東1局の配牌は、

三四五六七？？？？？西中。

手を進めて行けば断公九平和三色まで見えるいい配牌だった。

クラリネットさんが捨てた北をあんぎゃーさんに鳴かれても、まだ2巡で鳴くということは高い手にはならないだらつと安心していた。

その安心が崩れ始めたのは、親のいんひーさんが自風場風の東を貰った時だった。

新たなる表示牌は西。

つまり、あんまりやーすさんの表示牌は西。

それだけなら北東の満貫だ。

そして、あんまりやーすさんの加憲。これで北東4……だと想つてこ
た。

3枚目の表示牌は……西。

つまり、北東。

つまり、倍満。

あつえない、と思つた。

西は私の手牌に一枚と河に一枚出しているのだ。

その残りの2枚が両方とも表示牌になつて、尙田つやの表示牌を
4枚とも西風となる人が持つてゐるなんつて。

そして。

「ジモー。」

「場風牌、北東、倍満」

鳴いたとまゝえ、たつた5巡で倍満。

「の入つて……。

次局の私の親番。

――――四?・?・西東東白中中。

W東・中の対子に加えてマンズが7牌のドロツツで、かなりの勝負手。

東と中を鳴ければ、食い下がりとしてもW東中混一ドラ2で跳満。

とりあえずオタ風の西を落とす。

第一ツモは五。 ?切り。

あんぎやーすさんのが2枚目の?を落とした所で、いんひーさんから中が出たので、これを鳴ぐ。白切りで一尚聴。

あんぎやーすさんは白を鳴いて中切り。持っていたのか……。

そして、いんひーさんが東を出す。これも鳴いてW東中混一色を確定。?切り。

1つめは既に――待ちの三面張。

絶対に「いつかの方が早いはず!」

あんぎやーすさんは東切り。また……。

私のツモは?。ノータイムでツモ切り。

さすがに、まだ手は固まってないはず…

「立直！」

クラリネットさんのリーチ…

捨て牌から見るにタンピンの両面待ちリーチ。手が早い…。

それを受け手のあんせゅーさんは3枚目の2切り。

ただのミスにしては何かが変だけど…。

いんひーさんは安牌のハ切り、私がツモったのは六。

これを一と変えれば、一四七に待ちが変わる。

…効率を考えれば、いつだらう。一切り。

クラリネットさんが切ったのは、五。私には当たらぬ。惜しい…
「ロン！」…え？

また、あんせゅーすさん…?

「白 混一色 一気通貫 ドラ1 満貫」

私と同じマンズの混一色手！？しかもカン五待ちの単騎テンパイが、
私の三面張より早かつた！？

…親番が流れた。くよくよしても仕方ない。次の配牌は…。

一四？？？？？？？？？？南西

…良いとは口が裂けても言えない配牌。

カンチャンが多い4尚聽、役は：どひにか断公九、平和がつけばいいぐりこだらう。

その局はツモも奮わなかつた。

公九牌は消えるが、尚聽数が上がらない。

「立直ー。」

モタモタしている間に、あんぎやーすたんのコーチ……

「ツモー。」

「立直 ツモ 三暗刻 三連刻 断公九 ドリフ3 倍満」

もつ、誰もその卑をじつていいけない…………！

迎えた東4局。

1位のあんぎやーすたんと2位の私の差は48000点。

かなりの点差…逆転には、直撃ならずの倍満2回…。

…兎にも角にも、あがらない事にはどしきよつもない。

配牌は…

四八？？？白白白發發發發中中

…來た、思いもよらないチャンス手！

中が鳴ければ大三元、ツモが寄れば混一色に小三元…

これは、どうにかあがりたい。

私の親番まで回して、どうにか逆転する！

…そう、考えていた時だつた。

「ツモ！」

…え？

「天和 四暗刻 清老頭 トリプル役満」

…何か、ありえないものを見てしまった気がする。

…一応、勝つには勝つた。

〈Side 鶴美〉

ラストに決めたあれのおかげで、私以外の三人はトビ。

私が1位。それは変わらない。

しかし……何か違和感。

天和なんて、一生に一回起きるかどうかの稀な役。

それに役満が2種類複合するなんて、どうかしてるとしか思えない。

……そういえばあの時。

(森夫なみの天和あがれるかも……いやそれは無いか)

え、何あがれが原因だつたりするの?

……「一ん、ちょっと試してみる?」

すぐさまパソコンで起動したのは「麻雀チューイング」。

とてもシンプルな四人打ち麻雀を打てる、練習には持つてこいだけ
ど楽しくないfish。

まあ、今回は樂しさ田淵じや無いんだけど。

さて、私は南家か……

対局開始する直前に、頭の中で念じる。

(浩史のような地和……)

配牌は……?

一一一三三四？？？？？？

…そして、第一ツモは四。つまり…。

「…ツモ。地和」

子の役満は8000・16000。

そして、私の親番。

(森夫の天和……)

配牌は…

一一一三三四五六七八九九九

そしてラス牌は一。

「ツモ。天和九連宝燈」

これではつきりした。

「鰻、かあ…」

私はチート能力持ちだ。

それも「野性の鬪牌 鰻」という最強にして最凶、そして最狂の部類の。

「本当に、何がどうして、いつなつた…」

今日の一句でした。

あのあと、同 f1uushで色々実験してみた。

- ・全員分の能力使用可能。
- ・複数人の能力組み合わせは不可能（森夫 + 浩史、メカ沢 + マロン等）。
- ・ゴリなど一人で複数の能力を持つている場合、その全てを使用可能かどうか切り替えることが出来る。

…うん、酷いものだ。

とうあえず艦キャラの能力は全部封印だ、封印。

こんなの使つたら麻雀が楽しくない。

使うこともあるかもしけないが遊びの時だけだ。

普通の対局とかでは使わない。

メカ沢くらにならマシか？そんな訳が無い。

封印封印。

私は普通に麻雀やるだけだ。

さて、そんな事を思った時から早6年。

小学校を卒業し、今は普通の中学校に入学。

ぶつちやけた話中学高校の勉強程度で苦戦する訳も無いので、さくさくと進んでいる。

まあ学校では勉強面で目立ちすぎないように少し手を抜いてはいるのだが。

：勉強面では、ね。

「ん、ツモった。リーチツモ一発断公九平和ドラドラ裏裏……倍満
6000オールね」

「「「うわあ————.」」」

そう、麻雀である。

中学では「大会に出ない」という事を条件に、麻雀部に所属している。

前に言った通りスポーツはそこまで好きじゃ無いし、部活に入らず帰宅部というのは気が引ける。

困っていた所に、小学校から一緒に上がってきた麻雀友達が「麻雀部入らうぜー」と誘ってきたので、なし崩し的に入ることを決めたのだ。

大会に出ない理由は、ござつて時に鰻能力が発動したら怖いから。

鰻ではどこにもここにもぶつ飛んだ能力を持っているので、勝手に発動すると酷い目に会つのだ。主に相手が。

なので、能力は使わずに平々凡々と麻雀を打つている。

「ロン。それ高田だよ。面前清一色一氣通貫平和一盃口ドリ。親の三倍満36000でトビね」

「またかあああ————」

……平々凡々、の筈なんだけどな……。

「いやあー相変わらず強え……

あがる時は本当高い手ばっかだよなあ……」

「運が良いだけ、悪い時には何もできないしさ。
あがれる時があがつとかないとね」

実際「悪い時には～」は嘘だつたりするが。

何故かは知らないがこの世界での麻雀に関して、私はかなりの指運（？）を持つている。

こつちで麻雀を初めてから今まで、意図的または狙つてやつた時以外は満慣未満の手を上がつたことが無い。

鳴いて食い下がつても最低で満慣が入る。

ツモもかなりのもの。

有効牌も良く入るし、相手の危険牌はあまり引かない。

引いたとしても私の手の中で面子になってしまふ事がよくある。

つまり…あれだ、強いんだ。

まあその辺、運が良い方に傾いている前世の私と同じようなものだけど。

皆は、何故私が大会に出ないのか不思議がっていた。

とりあえず「プレッシャーに弱いから」とか言つておいたけど。

ちなみに私の部内での勝率（TOP率）は、全局あわせてだいたい7割5分である。突つ込むなよ。

ちなみにちなみに、久とまことは別の学校。

まあ家が近い訳でも無かつたしね。

元気でやつてるかな…

ちなみのついでに、久とまこに麻雀を教えたのは私だつたりする。

私が親戚達と打つていたら、興味を持ったのか教えてくれとせがんで来たので教えてやつた。

久はオーソドックスな麻雀で、まこは染めるのが好きだった。

まだ麻雀やってるのかな？

夕方の帰り道。

電車を使つほどではないが歩きだとそこそこ遠い為、帰り道は一人である。

自転車通学というのが一つ、帰り道が同じ人がいないというのが一つだ。

まあ流石に寂しいとかは無いから安心してほしい。

何故もつと近場や電車の圈内にしなかつたかつて？

これでも、前世今世ともに女性。

体重とかも少しは気にしているのです。

運動は継続してこそ。

毎日の自転車通学の甲斐あつてか、体重やボディスタイルはそこそこの。

巨乳とは言えないがそこそこある胸と、引き締まった腰。

1年なのに、何故か学校での人気は高い。特に女子から。

…バレンタインとか、クリスマスとか、イベントは覚悟しないとか
あ…はあ。

そんなことなら、家まであと半分といった所。

私が通るのは基本的に明るい道や大通り。

アニメや漫画みたいに、人通りの少ない道を歩いてさらわれるとか
は無い。

…まあ漫画でアニメの世界なんだけどさ。

とか思つていた矢先。

「森野昂美か？」

突然かけられた女性の声。

振り返つてみるとそこには…

「…変な服ですね」

「最初に突っ込むところはそこか！？」

「じゃあ変な人ですね」

「…」のガキ……殴りたいつ……ー」

ブルブルと震える女性。

見たことはあるが直接見たことは無いし、話すのも始めてなんだけ
ど…

「で、ただの一介の学生にびりこつた御用ですか、藤田プロ?」

「…落ち着け、私…。

んー、まあ単純に言うとだな、あれだ。
一局打たないか?」

…何故!?

視点・藤田靖子

「部内勝率8割?」

風の噂で聞いたが、とある学校にそんな新入生の新入部員がいるら
しい。

流石にガセだと思ったんだが、どうも本当だとのこと。

部員数は14人とあまり多くないとはいって、勝率8割か…

名前は森野昂美。

基本に忠実な麻雀にあわせて、時々不可解な打ち方をするらしい。

面子を崩したり、わざわざ单騎待ちにしたり。

それでいて相手のあがり牌は確実に止めるし、自分があがるとときは殆どが満慣以上……。

ふつむ…興味が沸いて来たな。

幸いこの時期はプロアマ混合戦の事もあってそれなり暇。

…打つてみるかな?

とりあえずあいつに電話だな。

「…あ、もしもし久保か?」

『福田か、一体何の用だ?』

私は牌譜とかを纏めなきやならないんだけど

電話をかけたのは久保貴子。

風越女子高校のOGにして麻雀部のコーチだ。

今年で地区予選3連覇の風越に貢献しているのは間違いないんだが
…如何せん、ちょっと厳しい所があるからなあ。

『おい、聞いてるー?』

「おおすまんすまん、ちょっと考え方してた」

『はあ……で、いきなり何だ?言つたとおり私は……』

「まあちよつと聞いてくれ。」

お前の所の部員、トップランカーの勝率つてどれくらいだ?』

『トップ率のトップ? と、安達か。

安達は……まあ4割前後だな。

あいつはいい打ち手だが、序盤から飛ばしすぎて血滅するところが……』

「ああすまん、ありがと。もういい」

『何なんだお前は……。

まあいいが、なんでそんなのを聞きたがったんだ?』

「これは例えば……そいつと下から11人選んだとして、10局やつたら勝率6割越えると思つか?』

『……いや、どうだろ?』

ある程度運も絡むし、下から11人と一口に言つたって、ルールも役もわから無いような雑魚じゃない。ちゃんとそれなりには打てる奴らだし。まあ4割……いつても5割程度だろうな。それから何だ?』

「……とある中学の新入生がな、その麻雀部で勝率8割を誇つているそうだ。

男女学年全てあわせて、ね

『な……つー?』

絶句する久保。まあ当然か。

『……それはまさかとは思つが、他の生徒が弱すぎるとこいつ意味では

ないよな?』

「学校は高ノ原中学だ」

『普通に強豪校じゃないか!』

高ノ原中学校。

全国中学麻雀大会で、必ずと言つていいほど本選へと勝ち残るほど
の強豪校。

部員数はさつきも言つた通り10人前後とあまり多くない。

決勝こそ行けないことも多いが、個人でもチームでも相当な実力が
あることは間違いない。

『高ノ原部内で勝率8割……これは、今年の全中は高ノ原か?』

「かもしれないな。

高校はどこに行くのか見物だが、本題はそれじゃない』

『ん?』

一呼吸置いて、続ける。

「そいつとちょっと打つてみたくてな、一緒にどうだ?』

『…まあ?』

少しの間無言。

『……打つのは別にいいが、どうして私だ？

他のプロでも常連の客でも何でもいいだろ？』

「んー……まあ、何となくだな。

常連さん入れて打つのはなんか気分悪いし、プロ入れるのは流石に
まずいし…

そつちの生徒も一人連れて来れば？

年上ばかりとはいえ、ある程度年代近かつたら話しやすいだろ？』

『……興味は、あるな。仕方ない、受ける事にするわ。
安達も連れていく。いい経験になるかもしれないしな』

「そーしろそーしろ、折角のチャンスだからな。
私は明日にでもその子を当たってみるさ」

『ああ、また電話してくれ』

「はいはー』

通話終了。

それで……実力を見せてくれよ？森野昂美、……

えーと…私チート持ち？（後書き）

今回の…というか、前話の東3・4局の用語解説です。

・チー

自分の手の中に順子の元が2枚あり、相手がその端の牌を出した時、「チー」と宣言してその牌を貰う事が出来る。
あとはポンと同じく牌を晒して右に寄せ、手牌から1枚を捨てる。
ポンと違うのは順子であること、また自分の1つ前の人からしかチー出来ないということ。

自分の反対側の人等からはチー出来ないので注意。

・リーチ棒

リーチ宣言をかけるには1000点棒を払う必要があるため、100点以下しか残っていない場合は当然リーチをかけられない。

・一盃口

種類と数字が同じ順子を2つ作る役。 1翻。
ポンチーミンカンすると無効。

例1：三三三四四五五????? 東

三四五の順子が2つある。

この状態なら、一盃口が確定して東待ち。

平和・断公九・混一色・混全帯公九（後述）・混一色等、複合出来る役が多い。

狙えるなら狙うのもありだが他家に頼れないでの、無理に行こうとしないこと。

・混全帯公九

色は何でもいいので、1・9・字牌を含んだ面子のみで上がる役。

面前2翻、食い下がり1翻。

断公九と作り方は似ているが、必然的に待ちが悪くなる。
しかし三色同順や混一色、役牌など、複合すれば高い手になりやすい。

例2：一一三九九？？？？？ 東東

一一三、？？？、？？？の3面子が確定しており、九か東が出れば上がりが確定。

なおこの場合は三色同順が複合しており、更に東場か親番で東が出た場合は役牌も複合する。

・順子・刻子ションツ・コーシ

面子の種類。

順子は3枚の連続した並びの牌。

四五六、？？？、？？？等。

種類が違う場合は順子にならない。

四？？、？八？、？？？等。

刻子は同じ牌を3枚揃えたもの。

？？？、白白白等。字牌は順子にならないので、必然的に刻子になる。

これも同じく種類が違うと駄目。

また、手牌の中で刻子を作る事を暗刻という。

・三暗刻サンアンコ

その名の通り、暗刻を3つ作る事。2翻、食い下がり無し。

単体では難易度と比べて役数が少なく見えるが、他の役と非常に複合しやすく、必然得点が高くなる。

断公九や役牌は勿論、対々和や混一色等が複合すれば一発逆転も。また、ドラが乗れば2翻の手が一瞬で倍満等になることも（三暗刻ドラ8を出した事はあるが…）

とこうか三暗刻だけであがるのは寧ろ難しいんじゃないだろうか…

・三連刻 サンレンゴ

同じ種類で、連續した3つの数字の刻子を作る事。2翻、食い下がり無し。

三暗刻と違つて鳴いてもいい。

しかし、普通の麻雀ならばこの役は採用されない。

所謂口ーカル役である。

とはいへ、一部のネット麻雀や麻雀ゲームでならお皿にかかる事も出来る。

個人的には普通の役でもいいのだが…

一盃口を消してまでわざわざ作る役でも無いことだらうか?
する。

また役満でなくとも、あがつた時に合計役数が13役以上の場合も「數え役満」という役満となる。

数え役満の例

二二二二二二五五五六七八八 ドラ表示牌は二

この時点で、清一色・三暗刻・断公九・ドラ3。

リーチをかけてあがるか、鳴かずにツモあがりなら（ $6 + 2 + 1 + 3 + 1$ ）合計13役となり、役満となる。

なお2つの役満が複合することはあるが、数え役満はどの役満とも複合しない。

子の役満の場合ツモなら子8000・親16000、ロンなら32000点。

親の役満の場合ツモなら16000オール、ロンなら48000点と、一撃で勝負を決めてしまうような大打撃をされることとなる。役満が2つ以上複合した場合は、点数が役満の数に従つて倍々になっていく。

・天和テンボ

自分の親番の配牌1~4枚で既に4面子1雀頭が確定している時、天和となる。役満。

役が無くても、4面子1雀頭さえ出来ていればいい。

：とはいえる普通はまずお目にかかるない役。

一生に一度あがれるかあがれないか、というレベルでの話となる。

：あんぎゃーすは3回ほど上がったことがあったりするのだが。

・四暗刻シアンコ

その名の通り、面前で暗刻を4つ揃える事。

三暗刻に加え残りの4枚が雀頭2つとなり、更にツモあがりでのみ成立する。

どう足搔いても面前でしか出来ず、加えてツモでしか成立しないといつ難易度の高さを誇る。

とはいっても暗刻自体は制限が無い（何の牌でもいい）ので、役満の中では作りやすい方。

・清老頭チンローテ

マンズ・ピンズ・ソウズの1と9のみで4面子1雀頭を作る役。鳴いてもいい。役満。

鳴いてもいいとはいえる順子が作れず、絶対に対々和の形になる。また、使える牌はわずか2~4牌。

待ちも单騎かシャボ待ちにしかならない。

前提条件が難しい変わりに、条件さえ揃えばわりと簡単に出来る役満もある。

今回はあんぎゃーす…もとい、森野昂美のチート能力の発現でした。

「鰐つて何?」という方は...「野性の闘牌 鰐」で「」動画まとめ
たはアンサイクロペディアで調べることをオススメします。
書くとなると物凄く長くなってしまうので.....

対局、藤田プロ。（前書き）

K…またあんまりやーすに脱衣麻雀で負けたしー。
調子の悪いこときですら勝てないって感じのことなのー。

あ…いや、そんな事言われても…

K…あと音ゲーでも割と人間やめてるよね。

あ…お前は私を何だと思っているの…

対局、藤田プロ。

視点・藤田靖子

あの後、どうにか対局の約束を取り付けた。

だが彼女も学生なので、流石に平日から雀荘で打つ訳にもいかない。

4日後の日曜日に某雀荘で打つことになった。

特別変なルールは無い。

面子は私と久保、久保が連れて来る生徒1人と森野だ。

対局の予定も無いし、一部の仕事をすれば残りは特に無い。

ふふふ… 対局が楽しみだ。

あ、言い忘れていたが半荘2回で勝負するそいつだ。

まあ実力を見るには妥当だろ？。

視点・久保貴子

「よし、集合！

今日の活動は終了だ！

各自自分の対局の牌譜を持ち帰り、反省点を書いて次の活動の時に

提出する」と！いいな！？」「

「「「はいっ！」」」

今年の新人は筋がいい。

2・3年も実力は伸びてるし、今年も全国への切符を握んでくれると私は信じている。

まあそんなことは口が裂けても言わないのだが。

と、それより…。

「…あー、安達」

「？はい…」

あだちゆみ
安達裕美。

現在の風越麻雀部内トップランカーで、大会では中堅をつとめる。

基本的には腰が重く、満貫以上のあがりで相手にプレッシャーをかけていく。

時折ミスもするが、間違いなく今の風越の最強だろ？。

…まあ、本人にそんなことを言つたりはしないが。

「お前、日曜日は何か予定は入っているか？」

「いえ、特に無いですが……」

私の質問の意味を計り兼ねているようだが……

まあ、今回は特に損は無いことだ。

「日曜日に私と藤田靖子プロとで対局の予定を取り付けている。まあ藤田プロは別の目的もあるようだが……

4人打ちだが、私と藤田プロ、それに藤田プロが連れて来る1人をあわせても3人だ。

残りの1人にお前を推薦した所、快くOKをいただいた」

「え…といつ」とは……」

「詳細な時間は本決まりでは無いが、本物のプロと対局が出来る。楽しみにしておけ」

「つはい！」

「ああついでに、小野・浜崎・竜田・八戸の四人はその対局の見学だ。

都合が悪ければいいが、特に用事が無ければ来る事…いいな…」

「…」「はいっ…」「…」

まあ特に何かある訳でも無く順調に日々は過ぎていく。

そして迎えた対局當日。

「ゴーチー！」んこちわーー！」

「ん？おお、5人とも来たか…

藤田プロはまだ来てないからな、適当に時間を潰してひー

「　　「　　「　　「　　「　　」」」

因みに校内ランクは、

安達	1位
小野	8位
浜崎	15位
竜田	59位
八戸	34位

だ。

まあその時の運によつても左右されるけどな。

さて、約束の時間までは後30分近いが…

「よつ」

…いや、早えよ。

「藤田か、久しぶりだな？」

「まあお互い色々忙しいしな。

あの子は昼飯を食べてから来るそつだ。

全くプロと打つ前だつていうのに、中学生が凶太い神経してゐるよ

「違いないな」

そう言つて2人で笑い合つ。

「あ、あのぉー…」

「ん？おお、戻つてたか。
こちら、藤田靖子プロだ。」

安達、お前はこれからこの人と打つんだからな？」

「はっはい！私、安達裕美と言います！」

麻雀では手を抜きませんが、よろしくお願ひしますー。」

「おお、久保が言つてた校内ランク1位の子か。
私も手を抜く」とは無いから安心しな」

そつと握手を交わす藤田と安達。

…一応私も打つ事になつてるんだけどな。

「んー……久保、先に雀荘に行つてるか？
まだあの子が来るまで少し時間はかかるだろうし。
東風戦一局くらい打てるだろ」

「……昼飯は既に食べ終わつてるからな、それでいいかもな。
お前ら、行くぞー」

「「「「「はいっー」「」「」「」」」

5人を連れてとある雀荘へ。

雀荘といつても煙草の匂いのするような場所ではなく、どちらかといえば喫茶店に近いような綺麗な場所。

禁煙だし酒も無いし、休日には学生がつるんでもうてぐるような場所だ。

今日はそのうちの一卓を貸し切りにしてもらおう。

全く、プロとしての古前の無駄遣いだらう。

「じゃあ、寶田は見学。

残りの4人で東風戦。

ルールは…ありありの赤あり、一翻しばりだ。よし、始めろ」

「「「「ようじくお願ひしますー」」」

視点・藤田靖子

…さて、あいつらは行つたな。

駅から徒歩5分の雀荘としては、中々良い所だからな。

この辺りに来た時はよくあそこで打つ。軽食も美味しいしな。

さて、多分あの子が来るまで時間は少しかかるだらうし…

……暇だ。仕方ない、煙管を吹かして待つとするか……

(30分経過)

「こんにちわー」

「よう、来たか。

予想外にこっちが呼んだ面子が早くてな、先に行つてもう打つてるよ。

もう行くか?」

「それじゃあ、是非」

よつやくやつてきた森野は高ノ森中学の制服ではなく、ジーンズに長袖Tシャツにパークーというラフな格好。

中学1年生にしては高い身長もあって、ビリも18やそこらに見えてしまつ。

いや、18だつたら小さい方か?……いいか、面倒だ。

「そついえば、一緒に打つ人つてのは?」

「ん?ああ、言つてなかつたな。

私の友達で、ある高校の麻雀部のコーチやつてる奴と、その教え子

だ。

まあ気楽にやれば良いさ

「はあ……」

とか言つてゐる内に雀荘に到着。

それにしても森野つて苗字、凄い聞き覚えがあるんだよな。

そんなに珍しい苗字でも無いし、偶然だと想つけど。

「お、やつてゐやつてゐ」

店に入ると、早速久保の生徒4人が打ち合つていた。

「あ、それロン！立直平和断公九ドラー、安田だけどフフ〇！
私の連荘ね！」

「うわ、まずっ！私ビリじyan！

高田振らなかつただけでもマシとしなきゃ……絶対取り戻す！

さすがに久保も、他のお客さん達がいる中じやあ強くは言わないようだ。

今は東3局、トップは12000差で安達か。

やはり校内ランクトップは伊達ではないようだ。

「ロン！対々和南ドラ3で跳満！」

「...」

一人沈んだか。3位の子が2位に浮上してトップと6700差。まだわからないが安達の親番……。

「ツモ！立直ツモ断公九で2600オール！親のあがりやめできつ
ちりトップです！」

結局は安達の逃げ切りか、やはり実力はあるようだけど。

でもま、部内での麻雀とプロとの麻雀は違つてこうのを教えてやらないとな……。

「ああ、来てたか藤田。その子が例の？」

「ああ、電話で話した子だ。

細かいところ抜きにして、早速打とうか?」「

「あ、はー! やりしゃくお願ひします! 安達裕美と言こます。」

「 もう少しお願ひします、森野昂美です」

…高3がキヨドリで中1が落ち着き払つてこるので見ぬと、どうも

私と3人が席につき、親決め。

親は
……安達からか。

さて、お手並み拝見と行こうか。

東家	安達裕美	25000点	親。
南家	久保貴子	25000点。	
西家	藤田靖子	25000点。	
北家	森野昂美	25000点。	

◀ Side 審査 ▶

あ、始まりましたね。

私は「一チの後ろで見学をさせてもらいます。

半荘2回、でも、学べる」と叫びます！

「一チの配牌は……？」

六七八???? 東東西西中

うーん……678の三色と、場風の東くらい？

ドリはハだから、鳴けば3900、面前なら7700かな？

第一ツモは？……微妙……！」これは中外しかな？

出したのは……？数牌は残さないの？

そりやあ確かに中は出でないけど…

他の人は……安達さんはオタ風の対子落とし、藤田プロは撥白、森野ちゃん（私高2だから5つ年下だよね？何か大人びてるけど…ちゃん付けでいいよね？）はハ九落とし。

皆断公九の方へと行くのかな？

次ツモは…東…やつた、風牌暗刻！

中切りでテンパイだけど、ijiでリーチじゃあペンチヤン待ちで東のみ…流石にそれは無いよね。

もう少し伸ばしたいけど……

そこから4巡は、？三？？と無駄ツモ。他の人は手出しが2回くらいで、多分手が進んできてる。

そして次に引いたのは…九…？…、これはもしかしてチャンタ三色が入るかも！？

次ツモは…？…！…嘘、凄い！

「リーチだ」

リーチ棒を置き、？を横にして置く。あがれば跳満、ツモれば倍満！

そして…？…南ハと引いたその次。

「む？慣！」

引いたのは東。これでドラが増えた！

「ツモだ。立直ツモ東三色チャンタドラ1、裏は…1つ、2つ足りないか。

子の倍満は40000・80000だな

「う…」

親だつた安達先輩は8000点の損失。

東1局でこれはかなり痛い…。

……ん？森野ちゃんの後ろで見てた小野が…何か、凄い顔してるけど、どうしたんだろう？

まあいいや、後で聞きに行こう。

視点：浜崎

あ、私の番？

私は安達先輩の手を見させてもらっています。

コーチにあがられた時、実は先輩は平和断公九をテンパっていたんですね…コーチのほうが一枚上手でしたね。

さて、先輩の次の配牌は……？

四四？？？？？？？？？白

ドリフサ？…

どうだろ？テンパイまでは早そうだけ… 断公九に三色回刻はつくかな？

つけば断公九三色回刻ドラーで、多分満貫かな？

さて、第1ツモは…… 白ーおお、いいツモ！

切つたのは？。

「一チは九、藤田プロは南、森野ちゃんは？」

むひ、森野ちゃんの打ち筋がよくわからない。

最初からこきなりドラ傍の断公九牌打つし、ビリコウ事なんだろ？… チヤンタ系狙いかな？

あ。

「ポン」

白が出たのでこれをポン。

切るのは…？か、対々和三色狙いかな？

次は…？。？を切ればテンパイだけど…。

ツモ切り。もう少し高い手が狙えるんだし、まあ当然かもね。

あと2牌有効牌が来ればいいんだけど…。

「ポン」

四をポン。三色同刻への一歩だね。

？切り。これであと1つ…。

その後、4つ無駄ツモ。

コーチがリーチをかけた。

捨て牌はピンズ・ソウズが多いので、混一色か清一色だと思つナビ。

マンズで出しているのは二と七。

間四軒で、危ないのは三と六かな？

次のツモはどうの？だ！これで対子になつた、しかも？？待ちのテンパイ！

？が出れば三色同刻がつくし、？なら単純にドラが増える。

？切り。藤田プロはオリ気配、森野ちゃんはチャントかな？

コーチが切つたのは？。

安達先輩がツモったのは九。

公九牌だから森野ちゃんに厳しいけど、どうする？

「…」は勝負つ！

九を切つた！どうなの……？

「…（クス）はい、当たりませんよ。セーフです。
久保さんはどうですか？」

「私もハズレだ。よく切つたな……」

おおっ、やつた！先輩凄い！

「それじゃあ折角なので…、はい。安打ですが、これが当たりです
よね？」

森野ちゃんが出したのは…？！？

「…ロン。白対々和ドラ3。6翻だから跳満です。
子だから12000点…」

「はい」

点棒を渡す森野ちゃん。

東2局での点数は…

久保貴子	41000点
安達裕美	39000点
藤田靖子	21000点
森野昂美	9000点

か。

森野ちゃんの一人沈みだけど…どうあるんだろう?

対局、藤田プロ。（後書き）

用語解説。

・対々和トイトイホー

手役を4つの刻子と頭1つで作る役。

2翻で食い下がり無し。

簡単に言つと、鳴いた四暗刻。

同じ牌を集めればいいので、初心者は好む。

順子関連の役とは複合しないが、ドラが乗ればかなりの大物手になる。

・無駄ヅモ

自分の手が進まないツモ。

例：？？？？？？？？？？東東

この場合はレンズの混一色手なので、マンズやソウズが来ても無駄ヅモとなる。

・手出し

ツモった牌をそのまま捨てるのではなく、ツモった牌と手牌を入れ替える事。

これをするとこうことはそのツモ牌は無駄ヅモではなく、手が進んだということである。

大体は4～5回ほど手出しならテンパイくらい。

・三色同刻サンショウクドウコー・サンショウクドウボン

三色同順と同じように、同じ数字の刻子を三色で揃えること。
食い下がり無しの2翻役だが、出来ることは稀。

作るのであれば、同数異色の牌が最低でも6枚は欲しい。

・間四件 あいだよんけん

相手の待ち牌の読み方。

両面待ちの場合、待ちは6種類しかない。

14、25、36、47、58、69だけ。

その中で捨て牌に1と6がある場合、その間である34持ちの25待ちの事が多い。

勿論シャボ待ちやカンチャンベンチャン待ちもあるので、過信は禁物。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1050r/>

あんぎゃーすにチート能力つけて異世界に送ってみた。

2011年8月26日17時49分発行